

令和5年度 延岡市立恒富中学校 学校関係者評価書

学校の教育目標

知性高く、心豊かで、自律的に行動できる生徒の育成

段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
主体的な探究	1 個別最適化による、学習指導の工夫・改善がなされ、4+4のチェックポイントによる「分かる・できるまで教える授業」を展開しているか。	<p>○分かる授業を目指し、日々教材研究を行い、展開することができた。また、職員研修を通して、4+4のチェックポイントを意識して授業を展開することができた。</p> <p>○ ICT の利活用や細かなコミュニケーションを通して、一人ひとりに寄り添った授業を展開することができた。</p> <p>●分かりやすい授業を目指して、教材研究をすることができたが、苦手な生徒全員がわかる授業ができなかった。ICT 活用を工夫したり、班活動を充実させたりして、全員が分かったと思える手立てを図る。</p> <p>●4+4のチェックポイントを意識して授業づくりを知ることができたが、習熟度に差がある生徒たちの個別最適な学びの対応ができなかった。教え合い活動や自分の習熟度に応じて演習できる授業の工夫が必要である。</p>	3	3	<p>○ ICTやAIの利活用という教育方法・技術の変革の中で先生方は授業改善に懸命に傾注されている。</p> <p>○ 生徒が自分の考えを表現したり、他の生徒からの意見を吸収できる場面を設けることができたのは良い点だと思う。</p> <p>○ 3年生の成績は日を追うごとに伸びており、延岡市内の大きな学校の中ではトップの位置にある。</p> <p>○ 成績の上昇について、「朱に染まれば赤くなる」という言葉もあるように、一貫した指導が活かされ、1学期よりも改善されたのではないか。</p>
	2 主体的に学び、探究する力の育成のために、考える時間の確保ができているか。	<p>○既習の学習内容を活用する場面を設定して、自分自身の考えを表現したり、他のともだちの考えを吸収できる場面も設定した。教師側からの指導だけでなく、周りの意見から学びのきっかけを作ることができた。</p> <p>○授業の中で班活動等の場面を意図的に行ったり、条件をつけたりすることで主体的な学びが行える環境を作る事ができた。</p> <p>●基本的な部分に時間をかけすぎてしまい、考える時間を十分にとることができなかった。全員が考えることができるように、授業の流れを改善が必要である。</p> <p>●生徒に考える時間を十分に確保することができたが、逆に時間の確保を長めにとってしまうと集中力が切れる場面があり、今後工夫改善が必要である。</p>	3		<p>△ 日常業務が多用なので、先生方が授業研究や授業にゆとりをもって取り組める環境が整備できるよう、教育行政を改善して欲しい。</p> <p>△ ICT はこれからもっと普及していくと思うので、活用場面を増やす必要があると思う。</p> <p>△ 先生の視点だけでなく、授業に関わっているはげまし隊の皆さんから見た子どもたちの現状を教えて欲しい。</p> <p>● 日頃の子どもの授業態度等なかなか分からない</p> <p>● 生徒一人一人、異なる学びの仕方があると思うため、一人一人に合う学習の手立ては必要だと思う。</p>
	3 教師の指導力・授業力を向上させるために、校内研究が充実できているか。	<p>○主題研究の中で、授業改善やテスト分析について他の教員と協議する時間があつたので、指導力を向上することができた。</p> <p>○学校訪問だけでなく、校内研修を通じて、ICTの活用例を提示したり、今後の活用方法についての勉強会があり充実していた。</p> <p>● ICT の活用について、メンターチームで話す機会や、他の教科での活用方法について聞く機会があつたので、充実していた。しかし、教科ごとに ICT の活用率に差があるので、さらに活用していけるように、議論していく必要がある。</p> <p>●今後は、活用場面や効果等を先に考えた上で活用していく必要がある。</p>	3		<p>● 1年生の状況についてはどうか？ 県全体と比べ、国語の正答率が高いが、他の教科は正答率が低くなっている。 今後の対応が必要である。各教科で分析し、授業の中で対応してもらうように話をしている。</p> <p>△ 3年生・1年生の実態の要因は何だと考えているか？ 3年生の成績の状況として一番考えられるのは、落ち着いた学校生活ではないか。授業中も落ち着いて取り組んでいる。 1年生は、学級の差がはっきりしてきている。学力の低い学級ほど落ち着きのなさが目に付く。今後の対応が必要ではないかと考える。</p>
豊かな人間性	1 学校行事、生徒会活動等を通して、協力して活動する心情を育て、互いを賞賛できる態度を養うことができているか。	<p>○表彰や日々の活動の取組を全職員で共有でき、日常的に賞賛する機会を増やすことができた。</p> <p>○生徒が主体となって取組ことができるように、事前指導に力を入れた。その活動を通して自分の頑張り（良さ）や仲間の頑張り（良さ）を認め、伝え合う機会を設定でき、活動できた。</p> <p>●生徒が主体的に取り組んでいる。あとは自分達で考えて行動できるような手立てを図る。</p> <p>●生徒自ら準備、運営する場面を設定し、自ら気づき、考え、行動できる恒富中生を育てていきたい。</p>	3	3	<p>○先生方のご苦労、お骨折りもいかにばかりかと拝察しています。</p> <p>○ 生徒たちが落ち着いてきた要因は何ですか？ 10月に生徒指導強化月間を実施し、生徒が主体的に取り組む環境を作り、生徒の意識の高揚が見られた。また、係活動等の活動の場を設定することで、称賛する場面が生まれ、生徒の意欲を高めることができた。</p>
	2 道徳の時間だけでなく、全教育活動との関連を図り、道徳的実践力を育てることができているか。	<p>○道徳の時間だけでなく朝の会、帰りの会、総合的な学習の時間等あらゆる場面で道徳的な問題を考えることができた。</p> <p>●学校行事や生徒会活動等を通して、協力して活動する場面や互いを賞賛できる場面の設定できている。それが協力する心情や互いを賞賛できる人間関係を構築する工夫が必要である。</p> <p>●相手の気持ちを考えていない発言が多々見ら</p>	3		<p>△以前やっていた「うきばむし」等の活動等、生徒が主体となり発信する場が増えるといいのではないか。</p> <p>△ 生徒自ら準備、運営する場面を先生間だけでなく、生徒間にも共有すれば、生徒自身もやる事が明確になるのではないかと思う。</p> <p>●恒富中学校の不登校生徒や問題行動の実業とその指導事例をお伺いしたい。</p>

性	3 人権意識を高め、体罰やいじめのない認め合う教育を実践できているか。	<p>れたが、その都度注意し、なぜいけないのかについて考えさせることができた。</p> <p>○道徳の時間だけではなく、集会や生徒指導の場面においても、いじめや人権について話すことができた。</p> <p>○職員会議や県コンプライアンス通信等を活用し、体罰根絶に向けての意識を高めることができた。</p> <p>○学級だけでなく、学年での集会等、行事だけでなく、普段の授業でも学年、全体で一貫した指導できる体制が本校はできた。</p> <p>○今後は、ピア・サポート活動も充実させていくことで、より認め合う教育を推進する。◆ピアサポートのアンケートを実施し、生徒と人権について考える機会を持つことができた。</p>	3		<p>△ 昔は「早く中学生になって欲しい」と話をしてきた。</p> <p>中学校3年生にもなると、自分で考え、判断して行動できるようになっている。</p> <p>中学1年生からこのような姿になるように声かけをしていた。</p>
評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
健康・安全・体力の向上	1 体育の授業・部活動・保健安全体育的行事を充実させ、体力向上を意識した取組ができているか。	<p>○生徒に体育大会等の行事を主体的に取り組ませることができた。また、体育科を中心に体力向上に向けて様々な競技に安全に取り組みながら授業を展開することができた。</p> <p>○授業、部活動、行事以外にも、ラジオ体操の取組など、生徒自らが主体となり、体力向上に楽しんで活動、貢献できている。</p> <p>○授業等の始まりと終わりのあいさつで常に立腰を意識させ、継続的に指導することができた。</p> <p>○身の回りの整理整頓の大切さについて伝え続けたことで、目を追うごとに改善が見られた。</p> <p>○養護教諭を中心に、保健指導の推進が図られている。性教育については今後実施する予定である。</p> <p>●継続した立腰指導はできているが、できている生徒とできていない生徒がおり、全員で揃える等の足並みを揃えた指導が今後必要である。</p>	3		<p>○「南海トラフ地震の震災が30年以内に70%～80%の確率」と警告されているので、地域と学校が一体となった防災学習や避難訓練を実施したい。</p> <p>○10月に実施した3地区（恒富、西小路、出口）合同避難訓練に中学校生の参加は少なかった。中学生が参加すると住民の意識も高まる。</p>
2 立腰指導の徹底、保健指導の推進、性教育の推進を通して、望ましい生活習慣を身につけさせることができているか。	3 安全教育・避難訓練等により、自分の命は自分で守るという意識を高めることができているか。	<p>○身回りの整理整頓の大切さについて伝え続けたことで、目を追うごとに改善が見られた。</p> <p>○養護教諭を中心に、保健指導の推進が図られている。性教育については今後実施する予定である。</p> <p>●継続した立腰指導はできているが、できている生徒とできていない生徒がおり、全員で揃える等の足並みを揃えた指導が今後必要である。</p> <p>○不審者対応避難訓練においては、事前指導を行うなどより本格的な訓練を実施することができた。また、生徒も自らの命を守る行動について考えることができた。</p> <p>●避難訓練の動きや先生同士での話し合い等も含め意識を高めることはできていると感じる。今年の能登半島地震の災害を見て感じたことや今後自分の身に起きたときにどうすれば良いかなど危機管理について研修する必要がある。</p>	3	3	<p>△立腰教育についてできない生徒について</p> <p>①本人の特性によるものか</p> <p>②環境によるものか</p> <p>見極めが必要であり、全員で揃える等の足並みを揃えた指導が多様性を重んじる今の（これからの）社会に適合するものかどうかは議論が必要である。</p> <p>●下校時に部活動生が道幅いっぱい広がっている姿をよく見かける</p> <p>●緊急時や災害時の動きはその後にとっても大事なことで、危機感を持たせて行う必要があると思う。</p>
信頼される学校づくりの推進	1 全職員の共通理解に立った、一貫性のある生徒指導体制を確立することができているか。	<p>○生徒指導主事を中心に、職員会議での生徒理解の時間を設けたり、共通理解のために、適宜、指導内容の確認をしたりするなど一貫性のある生徒指導体制を確立に向けて取り組むことができた。</p> <p>●共通理解のもと、学年で統一した指導ができていた。早期発見、迅速な解決のためには、さらに事前の声かけや積極的なしかけが必要である。</p> <p>●指導体制が徐々にではあるが整ってきた。しかし、全体での確認や共通実践をスムーズに進めるための工夫改善が必要である。</p>	3		<p>○ 文教地域の学校として、これからも幼、小、中、高と地域住民との教育環境づくりに努めていきたい。</p> <p>○ 今年職場体験の場も設けることができ、生徒も地域で働く経験、地域も生徒と接する機会を得られて良かったと思います。</p> <p>○ 地域との連携はとてとれていると思う。</p>
2 コミュニティ・スクールとして保護者・小学校・地域との連携を充実させ、一貫した生徒の育成に努めることができているか。	3 自分の住む地域や延岡に誇りをもち、貢献しようとする心を育成できているか。	<p>○地域活動やはげまし隊の積極的な動き、PTA活動など地域との連携はできている。</p> <p>○学級通信の定期的な発行やまめに保護者と連絡をとることで各家庭と連携して生徒の教育に取り組めた。</p> <p>●地域活動(清掃等)を実施したが、行事等にもっと地域の方々と協働活動ができるような仕組みを作る必要がある。</p> <p>○職場体験学習を通して、地元延岡の企業や延岡で働く人々について興味・関心を持たせることができた。</p> <p>○総合的な学習の時間の中で地元延岡に興味、関心をもつための機会を設けることができた。また、地域に貢献しようとする心を育成するためにボランティアについての情報を積極的に発信することができた。</p> <p>●今後、小中(3校)合同研修会を通して、情報交換を行いながら、総合的な学習の時間などを活用して、生徒たち自身で地域の良さを発見できるように探究活動(学習)や地域活動を設定することが必要である。</p>	3	3	<p>△ 地域との交流の機会をもっと増やして欲しい。</p> <p>地域住民と話し合い、何かを作ったりして、一緒に成し遂げる場があると絆が深まるのではないかと思います。</p> <p>△ あとは、会議でもありましたように地域の方々(事業者も含め)がもっと学校に集まり、接する機会を作ることが本来の「コミュニティスクール」の在り方なのではないかと思います。</p> <p>△ 部活動についてどのような状況なのか?</p> <p>※勉強と部活動の文武両道に頑張っていて欲しい。</p> <p>△ 地域移行について今の状況はどうなっているのか?</p> <p>※拠点校方式で取り組む事も考えているようである。</p> <p>※合同チームになることで、他校の友だちができたことと喜んでる生徒もいる。</p> <p>※今は、地域移行への変革の時期であり、思い通りのチーム編成ができていないのが現状である。</p>
<p>[次年度の方向性についての校長所見] ※ 関係者評価書を、令和6年度の学校経営方針策定に生かし、よりよい学校経営に務めたい。</p> <p>・特に以下の項目については重点的に取り組みます。</p> <p>(1) 生徒会・委員会活動など経験する場の意図的な設定と積極的な称賛の実施 (2) 各種調査・定期テストの分析とその後の対策の明確化 (3) 地域の人材・企業との連携の充実 (4) 働き方改革・地域と共にある学校作りの一層の推進</p>					